

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成25年 1月 9日 更新

事務事業名		合志市スポーツ推進委員配置事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	上原 哲也
	施策	22	生涯スポーツの推進			所属課	生涯学習課	担当者名	榑野 努
	基本事業	71	スポーツへの参加機会の提供			所属班	スポーツ振興班	(内線)	1519
予算科目	会計一般	款 10	項 6	目 1	事業連番 10824	法令根拠	スポーツ基本法 合志市スポーツ推進委員に関する規則                 成果優先度評価結果 : ⑨ コスト削減優先度評価結果 : ⑥		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・スポーツ振興法に基づき配置、合志市におけるスポーツに関する事業に協力し、スポーツについて指導助言を行い理解を深める活動を行うために体育指導委員を配置する。現在25人。・スポーツ振興法にうたってあり、住民のスポーツ振興のための企画立案、指導助言を目的に昭和36年度に配置された。・旧町時代の体育指導委員の定数はそれぞれ15名であったが、合併後30名以内になった。・高齢化社会を迎え、高齢者向けの講座の要請が増えてきた。また、スポーツ振興基本計画や健康増進法などの制定により、健康ブームからスポーツを楽しむ人が増え益々活動が増えている。・平成12年にスポーツ振興基本計画が制定され、平成18年に一部改正された。平成23年にスポーツ基本法が制定され名称が体育指導委員からスポーツ推進委員になった。
【業務の流れ】	・会議の開催、研修・講習会の企画、出前講座の手配、費用弁償等の手配、スポーツ推進委員手帳等の消耗品の購入事務、スポーツ傷害保険加入事務、県スポーツ推進委員協議会への負担金支払い事務
【主な予算費目】	・旅費(費用弁償)、報酬、消耗品費、役務費、負担金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・高齢者向けの講座の要請・健康ブームからスポーツを楽しむ人が増え、スポーツ推進委員の手伝いが必要だという意見 ・区やコミュニティーからスポーツ推進委員の出前講座で大変親切に分かりやすく指導いただいたという意見

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動) (DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
月例会議の開催、市主催スポーツ振興事業への協力依頼、出前講座等への派遣依頼	・月例会議の開催、市主催スポーツ振興事業への協力依頼、出前講座等への派遣依頼 ・熊本県スポーツ推進委員研究大会・新人スポーツ推進委員研修・熊本県女性スポーツ推進委員研修会・第1ブロック女性スポーツ推進委員研修会に参加した。九州地区スポーツ推進委員研究大会に参加予定。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア スポーツ推進委員の出席(派遣)機会事業回数	費用弁償、旅費の増(体育指導委員参画事業からの移行) 推進委員ユニフォームの購入
イ 年間市主催のスポーツ関係行事に参加した市民数	(単位) ② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	→ ア 合志市民 人
合志市民	→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
スポーツに親しんでもらえる	→ ア 年間市主催のスポーツ関係行事に参加した市民の割合 %
	→ イ
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
市民がスポーツに親しんでいるかどうかは、スポーツ大会にどれだけ参加しているかで推測するしかない。また、市主催大会でなければその数は把握できない。	
総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	21年度 実績(決算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	25年度 予定	26年度 見込	27年度 見込	
① 活動指標	ア 回		69	86	70	71	70	70	0	0	
	イ 人		3,943	3,039	4,844	3,656	4,934	5,000	0	0	
	イ 人		54,901	55,828	55,751	56,638	56,222	56,693	0	0	
② 対象指標	ア 人		54,901	55,828	55,751	56,638	56,222	56,693	0	0	
	イ 人										
③ 成果指標	ア %		7.1	5.4	8.7	6.5	8.8	8.9	0	0	
	イ %										
	イ %										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	一般財源	一般財源	千円	1,173	2,154	2,249	2,012	3,274	2,249	2,249	2,249
		(A) 事業費計	千円	1,173	2,154	2,249	2,012	3,274	2,249	2,249	2,249
		(A)のうち指定経費	千円	0	920	921	919	967	921	921	921
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正職員従事人数	人	4	2	2	5	2	2	2	2
人件費	延べ業務時間	時間	30	21	45	121	45	45	45	45	
	(B) 人件費計	千円	119	86	185	488	185	185	185	185	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,292	2,240	2,434	2,500	3,459	2,434	2,434	2,434	

事務事業名	合志市スポーツ推進委員配置事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	-------------	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 市主催のスポーツ関係行事の参加者が目標に達していない。周知不足による。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 参加募集の周知を強化する。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ・住民への体育指導委員の知名度も向上し、派遣機会も年々増加してきている。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・福祉関係課と連携することにより向上が期待できる。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ・必要最小限の出席にし事業費を削減している。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ・効率的におこなっている。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ・地域の代表である体育指導委員は全市民を対象にサービスを展開しており、住民は体育指導委員を活用する機会を公平に与えられている。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

体育指導委員の認知度も年々上昇しており、各団体からの派遣依頼も増加している。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					